

放射線科

〔到達目標〕

■GIO(一般目標)

将来の専攻科にかかわらず、画像診断及び放射線治療の臨床的な重要性を理解し、検査や治療法の適切な選択や評価ができるようになるために、画像診断、画像下治療[IVR(Interventional Radiology)]や放射線治療の基本的な考え方を習得する。

■SBOs(行動目標)

- (1) CT, MRI, PET, 放射線治療の基礎を理解する。
- (2) CT, MRIでの臨床解剖を理解することができる。
- (3) 各疾患における検査の適応を理解する。
- (4) 放射線治療の適応を理解する。
- (5) 造影剤、造影方法に対する理解を深める。
- (6) 画像所見の記載方法、用語を深める
- (7) 他科、コメディカルと連携する。
- (8) 被曝、放射線防護に対する理解を深める。

■LS(方略)

- ① On the job training
指導医とともにCT、MRI、PETの読影を行い、報告書を作成する。
- ② 画像下治療(IVR)などの診断・治療技術の修練
画像下治療(IVR)の手技を理解し、局所麻酔、穿刺、圧迫止血ができる。

【週間予定表】

	月	火	水	木	金
午前	読影	読影	読影	画像下治療(IVR)	読影
午後	読影	放射線治療	読影	画像下治療(IVR)/読影	読影

**上記以外に検査や画像下治療(IVR)など適宜あり。

■Ev(評価)

- ① On the job
指導医による読影報告書のチェック